

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年10月25日 (2018.10.25)

【公開番号】特開2017-76376(P2017-76376A)

【公開日】平成29年4月20日 (2017.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-016

【出願番号】特願2016-177790(P2016-177790)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 3 8 0 E

G 0 6 Q 30/02 4 8 0

G 0 6 Q 30/02 3 0 0

G 0 6 F 17/30 3 4 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月14日 (2018.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者が入力した検索クエリの履歴を取得する取得部と、

前記行動情報のうち、所定の選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を示す行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する検索クエリの履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出部と

を有することを特徴とする算出装置。

【請求項 2】

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者がウェブ上に投稿した投稿情報の履歴を取得する取得部と、

前記行動情報のうち、所定の選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を示す行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する投稿情報の履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出部と

を有することを特徴とする算出装置。

【請求項 3】

前記取得部は、前記行動情報として、ウェブ検索の結果に含まれる選択対象の中から利用者が選択した選択対象の履歴を示す情報を取得する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の算出装置。

【請求項 4】

前記取得部が取得した行動情報のうち、所定の選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報と、当該所定の選択対象とを紐付ける紐付部を有し、

前記算出部は、前記所定の選択対象に関連する情報を含む入力情報と、当該所定の選択対象と紐付けられた行動情報とを用いて、当該所定の選択対象の優先度を算出する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のうちいずれか 1 つに記載の算出装置。

【請求項 5】

前記取得部は、前記行動情報として、ウェブ検索の結果に含まれるリンクのうち、前記利用者によって選択されたリンクを示す情報を取得し、

前記紐付部は、選択されたリンクが示すウェブページと関連する選択対象を特定し、特定した選択対象と、当該ウェブページへのリンクを選択する操作を示す行動情報とを紐付ける

ことを特徴とする請求項 4 に記載の算出装置。

【請求項 6】

前記紐付部は、選択されたリンクが示すウェブページにおいて電子商取引の対象となる取引対象を特定し、特定した取引対象と、当該ウェブページへのリンクを選択する操作を示す行動情報とを紐付けし、

前記算出部は、所定の取引対象に関連する情報を含む入力情報と、当該所定の取引対象と紐付けられた行動情報とを用いて、当該所定の取引対象の優先度を算出する

ことを特徴とする請求項 5 に記載の算出装置。

【請求項 7】

前記取得部は、前記行動情報として、前記ウェブ検索に用いられた検索クエリである選択クエリと、当該選択クエリを用いたウェブ検索の結果に含まれるリンクのうち選択されたリンクを示す情報との組を取得し、

前記算出部は、前記所定の選択対象と紐付けられた行動情報と、当該行動情報に含まれる選択クエリに関連する情報を含む入力情報とを用いて、当該所定の選択対象の優先度を算出する

ことを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の算出装置。

【請求項 8】

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象の購入履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者が入力した検索クエリの履歴又は利用者がウェブ上に投稿した投稿情報の履歴を取得する取得部と、

前記行動情報のうち、所定の選択対象の購入履歴である行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する検索クエリの履歴又は当該選択対象に関連する投稿情報の履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出部と

を有することを特徴とする算出装置。

【請求項 9】

前記取得部は、前記選択対象として、電子商取引の対象となる取引対象に関する行動情報を取得する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 8 のうちいずれか 1 つに記載の算出装置。

【請求項 10】

前記算出部は、前記所定の選択対象と当該所定の選択対象が有する特性との組ごとに、当該所定の選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報と、当該組に関連する情報を含む入力情報とを用いて、前記優先度を算出する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 9 のうちいずれか 1 つに記載の算出装置。

【請求項 11】

前記算出部は、前記行動情報から前記所定の選択対象を利用者が選択しようとする意欲の指標となる第 1 の指標を算出し、前記所定の選択対象を示す情報を含む入力情報から当該所定の選択対象の話題性の指標となる第 2 の指標を算出し、前記第 1 の指標と前記第 2 の指標とを用いて、前記所定の選択対象の優先度を算出する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 10 のうちいずれか 1 つに記載の算出装置。

【請求項 12】

前記算出部は、前記選択対象ごとに、前記第 1 の指標に所定のパラメータを積算した値と前記第 2 の指標に所定のパラメータを積算した値との和を算出し、算出した和の値の分布に基づいて、前記選択対象ごとの優先度を算出する

ことを特徴とする請求項 1 1 に記載の算出装置。

【請求項 1 3】

前記算出部は、算出した和の値の分布を素性として、当該算出した和の値から前記優先度を算出するモデルを学習し、学習したモデルを用いて、前記選択対象ごとの優先度を算出する

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載の算出装置。

【請求項 1 4】

前記取得部は、前記行動情報と、当該行動情報が示す行動が行われた位置との組を取得し、

前記算出部は、前記所定の選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報と、前記所定の選択対象に関連する情報を含む検索クエリの候補とに基づいて、当該行動情報が示す行動が行われた位置に応じた重みづけを考慮して、当該所定の選択対象の優先度を算出する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 1 3 のうちいずれか 1 つに記載の算出装置。

【請求項 1 5】

算出装置が実行する算出方法であって、

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者が入力した検索クエリの履歴を取得する取得工程と、

前記行動情報のうち、所定の選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を示す行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する検索クエリの履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出工程と

を含むことを特徴とする算出方法。

【請求項 1 6】

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者が入力した検索クエリの履歴を取得する取得手順と、

前記行動情報のうち、所定の選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を示す行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する検索クエリの履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出手順と

をコンピュータに実行させることを特徴とする算出プログラム。

【請求項 1 7】

算出装置が実行する算出方法であって、

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者がウェブ上に投稿した投稿情報の履歴を取得する取得工程と、

前記行動情報のうち、所定の選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を示す行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する投稿情報の履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出工程と

を含むことを特徴とする算出方法。

【請求項 1 8】

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者がウェブ上に投稿した投稿情報の履歴を取得する取得手順と、

前記行動情報のうち、所定の選択対象に関するコンテンツへのリンクの選択履歴を示す行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する投稿情報の履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出手順と

をコンピュータに実行させることを特徴とする算出プログラム。

【請求項 1 9】

算出装置が実行する算出方法であって、

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象の購入履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者が入力した検索クエリの履歴又は利用者がウェブ上に投稿した投稿情報の履歴を取得する取得工程と

、

前記行動情報のうち、所定の選択対象の購入履歴である行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する検索クエリの履歴又は当該選択対象に関連する投稿情報の履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出工程とを含むことを特徴とする算出方法。

【請求項 20】

選択対象の選択に関する利用者の行動の履歴を示す行動情報として、選択対象の購入履歴を取得するとともに、利用者が入力した情報である入力情報として、利用者が入力した検索クエリの履歴又は利用者がウェブ上に投稿した投稿情報の履歴を取得する取得手順と

、

前記行動情報のうち、所定の選択対象の購入履歴である行動情報と、前記入力情報のうち、前記所定の選択対象に関連する検索クエリの履歴又は当該選択対象に関連する投稿情報の履歴とを用いて、当該所定の選択対象を提示する際の優先度を算出する算出手順とをコンピュータに実行させることを特徴とする算出プログラム。